

令和5年度「宮崎市放課後子ども教室推進事業」

活動報告書

～地域の子どもは
地域で育ち
地域で育てる～



宮崎市教育委員会

目 次

☆ はじめに	2
☆ 放課後子ども教室活動報告	
○ 江平っ子放課後子ども教室	3
○ 小戸っ子こども教室	5
○ 西池っ子こども教室	7
○ 古城っ子放課後子ども教室	9
○ 港子どもクラブ	11
○ 櫛北っずこどもクラブ	13
○ 南っ子放課後子ども教室	15
○ 鏡洲放課後子ども教室	18
○ 学園木花台小放課後子ども教室	20
○ 瓜生野小放課後子ども教室	22
○ 住吉小放課後子ども教室	24
○ 住吉南っ子放課後子ども教室	26
○ 生目っ子放課後教室	28
○ 小松台小放課後子ども教室	30
○ 本郷地区放課後子ども教室	32
○ 大塚わくわく子ども教室	34
○ 江南わくわく子ども教室	37
○ 宮崎東小学校放課後子ども教室	39
○ 東大宮小学校放課後子ども教室	41
○ 宮崎西小放課後子ども教室「西小っ子クラブ」	43
○ 赤江っ子放課後子ども教室	45
○ 佐土原小学校区放課後子ども教室「くじら教室」	47
○ 広瀬西小校区「遊んでいい友塾」	50
☆ 令和5年度放課後子ども教室運営組織委員会・ 指導者研修会事業実績	53
☆ 令和5年度放課後子ども教室推進事業登録者数一覧表	54

※ 表紙の写真は、報告書の中から引用いたしました。

は じ め に

宮崎市教育委員会では、「宮崎で育ち、学ぶことを通して、郷土に誇りと愛着をもつ感性豊かな『みやざきっ子』の育成」を基本理念に、学校、家庭、地域、行政が一体となって、その具現化に取り組むことで、知・徳・体のバランスの取れた「みやざきっ子」の育成に努めているところであります。

これまで教育環境の充実や社会教育、家庭教育の充実の一環として、平成16年度からの「地域子ども教室推進事業」に続き、平成19年度からは「放課後子ども教室推進事業」を実施し、地域における教育力の活性化の推進を図ってきました。

この「放課後子ども教室推進事業」では、地域の方々や学校関係者の支援をいただきながら、全ての子どもを対象として、放課後や週末等に、小学校の教室や体育館、公民館などの施設を活用し、子どもたちが安全で安心できる活動拠点（居場所）を設けております。具体的活動内容としては、学習（宿題）や軽スポーツ、創作活動、地域住民とのふれあい等を通して、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進しているところです。

本事業では、コーディネーターや教育活動サポーターの方々の工夫と努力により、地域の実態に応じた特色ある活動が実践され、充実した教室運営がなされております。子どもたちは、身近な居場所で、異年齢集団で遊んだり多くの友達といっしょに活動したりと、とても貴重な体験をしています。

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、コロナ禍で制限されていた子ども教室での活動が、コーディネーターや運営委員、公民館の方々のご努力により平常に戻りつつあります。そして今回、本年度も市内23か所の放課後子ども教室の実践事例をまとめた活動報告書を作成することができました。ぜひ、この活動報告書の内容を共有していただきますとともに、生涯学習課といたしましては、今後の子どもたちの放課後の環境がさらに充実し、一人一人が健やかに成長していくようお願い尽力していく所存でございます。

結びに、本事業の実施に当たり、本年度もご尽力いただきました関係者の皆様のご努力、ご協力に心より感謝申し上げます。

令和6年3月

宮崎市教育委員会生涯学習課

教室名・年間開催回数	【江平っ子放課後子ども教室】活動報告書・年間79回
公民館・学校名	宮崎東地区交流センター・江平小学校
活動場所・時間等	江平小学校会議室・会議室 毎週水曜日 14:30～17:00 41回 江平小学校体育館・運動場 第2土曜日 9:00～12:00 11回 宮崎東地区交流センター 毎週土曜日 13:30～15:30 27回
運営スタッフ	コーディネーター 1人 教育サポーター 45人
参加児童	1回当たりの平均参加児童 21人 登録児童数 137人

番号	項目	成果と課題
1	教室の方針	※ 安全で安心な居場所で、子ども同士や地域の方々との交流を図り、あいさつ、言葉使い等を含め、健全な人格形成に役立てる。
2	年間事業計画	※ インフルエンザ等による学級閉鎖があったので、手洗い、消毒をこまめに行わせた。教室の中止もなく、子ども達の笑顔の元、スムーズに計画通りに進んだ。
3	活動内容	※ 水曜日の活動は、多くの子どもが先を競って楽しみに参加している。リクエストもあり喜んで取り組んでいる。 土曜日の活動は、9月以降にインフルエンザが流行った影響で参加者が少なかったが、徐々に元に戻りつつある。
4	子どもの指導と管理	※ 宿題はわからない事をそのままにせず質問をしたり、自分達のやりたい事をリクエストしたりするので、できる範囲で応じるようにしている。あいさつ、片付けはきちんとするが、水筒、帽子等の忘れものが見受けられる。
5	子どもの参加状況	※ 水曜日は、子どもの参加、指導者、見守り等も良かったと思う。 土曜日はインフルエンザ等で少し少ない日が続いた。参加は自由意志に任せている。
6	学校との連携	※ 授業が早く終了する等、学校から前もって連絡をしていただいたり、校内放送で教室の案内をするなど、学校総ぐるみで応援していただいた。
7	保護者との連携	※ 保護者から「子どもが教室を楽しみにしている」という声をいただき、手の空いた時には顔を出してもらっている。保護者とはうまく連携が取れている。
8	予算の執行	※ 謝金は予定通り支払い執行する。消毒液以外は購入。その他用紙、事務用品他、必要な出費は確実に予算を執行している。
9	その他の運営全般	※ 学校、交流センター、その他たくさんの方々のご協力のおかげで順調に運営できた。皆さんに感謝したい。

令和5年度 事例写真 <江平っ子放課後子ども教室>



7月8日(土) 江平小 ぼくと隊
みんなでスライム作りに挑戦しました。
とても楽しかったです。



6月17日(土) 宮崎東地区交流センター
卓球を習いました。



8月2日(水) 江平小学校
「公立大生と宿題をしよう①」
公立大生のお姉さんに夏休みの宿題を教
えてもらいました。



8月3日(木) 江平小学校
「公立大生と宿題をしよう②」
宿題がどんどんはかどりました。



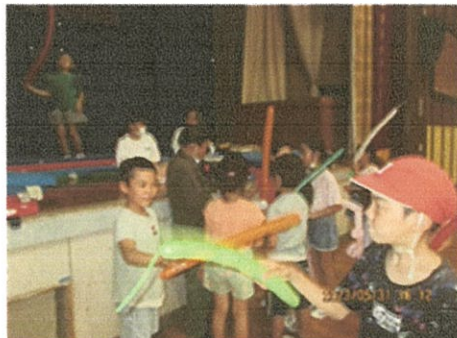
10月14日(土) 江平小学校 ぼくと隊
江平小の体育館でボール遊びをして楽しみ
ました



9月20日(水) 江平小学校
昔の遊びである「あやとり」に挑戦しました
たくさん教えてもらって上手にできるよう
になりました。

教室名・年間開催回数	「小戸っ子こども教室」活動報告書 年間 27 回
学 校 名	小戸小学校
活動場所・時間等	小戸小学校耕心室、体育館 毎週水曜日 15:00～17:00 短縮授業の時 14:00～17:00
運営スタッフ	コーディネーター1名、サポーター15名
参観児童	1回当たりの参加児童 36,7 名 登録児童数 70名

NO	項 目	成 果 と 課 題
1	教室の方針	児童が安全に楽しく過ごせる居場所づくり
2	年間事業計画	通常活動に加えて、青島青少年自然の家の出前講座、あやとり、人形劇、七夕飾り、お楽しみ会等を実施している。
3	活動内容	通常 15:00～耕心室に集まり学習活動。15:30～「耕心室」「体育館」好きな方に分かれて体育活動、自由遊び。
4	子どもの指導と管理	出席簿で参加、退去を把握（耕心室、体育館共） 迷惑行為や危険な行為には注意、指導するが、児童の自主性に任せて見守る。
5	子どもの参加状況	12月終了時点での平均参加児童は 36,7 人、登録児童数は 70 人。
6	学校との連携	教頭先生を窓口の使用施設、下校時刻等の情報連絡を受ける。運営に支障はない。
7	保護者との連携	体調不良児童の「迎え」依頼。保護者からは「欠席」連絡がある程度で連携はあまりない。
8	予算の執行	報償費は、概ね予定内消化の見込み。需要費については、若干未消化の見込みだが次期を見据えて、適正消化を目指す。
9	その他運営全般	短縮授業対応が 4 回（5, 6, 7, 9）。あった。 1回当たりの平均スタッフ配置人数は 7,0 人

事 例 写 真	
5/17 人形劇	5/31 バルーンアート
	

6/21 出前講座（煙体験）	10/4 あやとり
	
11/29 出前講座（火おこし体験）	12/20 お楽しみ会（フラフープ）
	
年度を通じて出前講座を4回、七夕飾り、自由遊び（カップ積み、けん玉、カードゲーム） 体育活動（ドッチボール、鬼ごっこ、縄跳び、バトミントン）等で活動している。	

教室名・年間開催回数	【西池っ子放課後子ども教室】活動報告書・年間 33 回
公民館・学校名	西池小学校・少人数教室・家庭科室・体育館・図書室
活動場所・時間等	西池小学校 毎週水曜日 15:00 ～ 17:00
運営スタッフ	コーディネーター1人、サポーター16人
参加児童	1回当たりの平均参加児童 53 人、登録児童数 77 人

番号	項目	成果と課題
1	教室の方針	・学校が終わった後の子どもの安心・安全な居場所の提供を目標に、地域住民を中心に活動する。なるべく子どもの自主性を重んじ、極力口出しをしない見守りを大事にする。
2	年間事業計画	・概ね年間計画通りの開催でした。学校側の都合により突然中止に成るケースがやはり今年も見られた。幾ら打ち合わせをしても駄目です。
3	活動内容	・宅習や自学を最低 30 分ほど実施し、その際教職経験者の地域住民を中心に、個別指導等を行ってきました。体育館の中において、安全を第一にスタッフで見守り、トランプ、あや取り、ゲーム、マット、跳び箱、ボール等で、学年の垣根を越え活動していました。
4	子どもの指導と管理	・常に 14 人～15 人のスタッフと共に、必ず来た時と帰る時の受付をする事を徹底し、早く帰る子には理由を聞いて保護者は知っているのかを確認し、名簿にその時間を記入する様にしました。学校内でのきまりや指導を確認し、それに沿っての活動をさせるように、学校とも連携を取りながら、実施してきました。
5	子どもの参加状況	・申し込み人数は例年通りだった。途中加入者も多少有ったが、例年通り数か月すると参加者は固定化し、落ち着いた状況になった。
6	学校との連携	・年度初め、年度の途中にも何回も確認しているのにもかかわらず、相変わらず直前での連絡があり、スタッフ一同困惑しています。開催場所に関しての提案にしても、厳しいのは理解しておりますが、もう少し何とかして頂きたいのが、本心です。
7	保護者との連携	・2月の学校主催新入児童説明会において学校側に時間を頂き、説明・案内、更に新学期に入り新2年生～6年生全世帯にプリントで内容の説明、コーディネーターの携帯電話番号を明記し、常に連絡が取れる体制を心掛けております。送迎とかは個別に各家庭にて良く子供と話をして頂き、対応する様にお願いしています。
8	予算の執行	・予算の厳しい中、当初に比べて柔軟性を持たせて頂けるようになり、大いに活動しやすくなったと思います。これから金額の維持と柔軟性の継続をお願いいたします。
9	その他運営全般	・地域住民へのスタッフ募集案内を、全自治会の回覧板にて実施した所、数件の問い合わせ等がありました。もっと広報活動に力を入れていきたいとは思いますが、行政からも広報活動の支援をお願いいたします。開催場所に関しては、学校側に理解と協力をお願いしたい。

事例写真



期 日 令和 5 年 10 月 4 日

場 所 宮崎市立 西池小学校 家庭科室

コメント 西池小学校の家庭科室を借りて、宅習や宿題や個人での取り組みをし、地域の方々との交流も一緒に図られている。最後まで勉強する子どもや、友達と仲よく遊ぶ様子も見受けられる。



期 日 令和 5 年 12 月 13 日

場 所 宮崎市立 西池小学校 体育館

コメント 子ども達の自主性を大事にし、こちらから押し付けでなく、自分たちで考え、仲良く時間を過ごせるように気をつけてきました。いろいろな学年や男の子・女の子が同時に遊ぶ難しさが有ったように思います。それらを嫌って来なくなった子どもも居たように感じます。

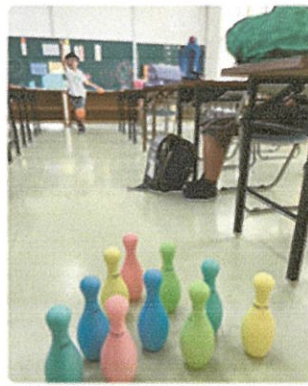
教室名・年間開催回数	【古城っ子放課後子ども教室】活動報告書・年間 31回
公民館・学校名	大淀公民館・古城小学校
活動場所・時間等	古城小 毎週水曜日 15:00～17:00
運営スタッフ	コーディネーター1人、サポーター7人
参加児童	1回当たりの平均参加児童16人、登録児童数29人

番号	項目	成果と課題
1	教室の方針	子ども達の安心・安全な居場所を確保するために、コロナウイルス等の感染防止に努めた。また、子ども達の楽しい時間になるように、子ども達同士の学び合いや仲間づくりに力を入れて実施してきた。
2	年間事業計画	年間を通して、宿題や宅習の終了した児童から自由遊びとしている。7月、12月、3月は、お楽しみ会、12月は大掃除、1月は凧揚げ大会等、節目節目に行事を計画した。
3	活動内容	季節の行事を取り入れ、七夕飾りを作って飾ったり、凧を作って凧揚げを楽しんだりした。7月には、青島少年自然の家の出前講座でレクリエーションゲームをしていただき、楽しい時間を過ごせた。12月にはサポーターさんが木のツルを用意してくださり、リース作りに取り組むことができた。新聞紙凧作りも意欲的に取り組み、凧揚げを楽しんでいた。
4	子どもの指導と管理	子ども達は、トラブルも少なく仲良く活動している。帰りの会で、その日の振り返りをして、なかよくできたか、片付けはできたか、靴の整頓をできたかを最後に確認するようにした。サポーターは、一人一人に目を配り、声掛け、寄り添い楽しい時間になるようにしている。
5	子どもの参加状況	水曜日を楽しみに来てくれる子どもが多い。登録はしているが、ほとんどお休みの子もいる。お稽古事が、休みの時だけ参加の子ども達もいる。
6	学校との連携	古城小学校の多目的教室を使用させていただき、学習にも取り組みやすく感謝している。また、教室の中に道具を置かせていただき、活用しやすくなった。雨の日は、体育館を使用させていただいている。毎月、放課後教室実施日を学校と確認をして、放課後教室だよりを配布させていただいている。
7	保護者との連携	その日の学習の様子や頑張っていたこと、遊びの様子等を迎えに来られた時、保護者に伝えるようにしている。保護者の方々にもよく協力してもらっていて、迎えが遅くなる時など連絡が入るので教室で待つようにしている。
8	予算の執行	子ども達の要望も聞きながら、必要な品物を購入している。子ども達の活動のために、いろいろと工夫しながら、大切に使っている。
9	その他運営全般	サポーター4人体制で活動してきたが、4人体制がむずかしくなってきた。サポーター確保が、課題である。

【事例写真】 教室名 (古城っ子放課後子ども教室)

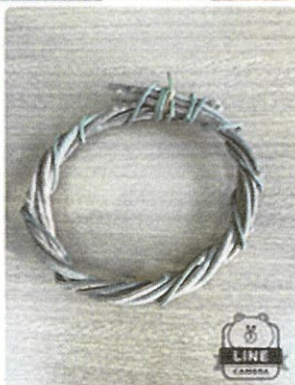
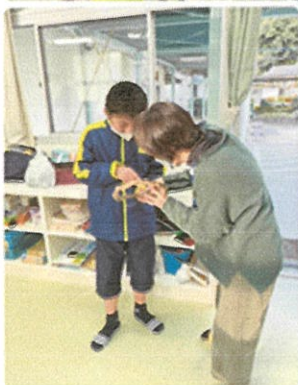
青島少年自然の家の出前講座 楽しかったなあ

教室の中や校庭でいっぱい遊んだよ



可愛いリースができた！

新聞紙で凧作りに挑戦



港子どもクラブ 活動報告書	
宮崎港小学校 年間開催回数 35 回	
< 宮崎港小学校体育館 毎週水曜日 14:45～17:00 30 回 >	
コーディネーター（１）人	教育活動サポーター（ 7 ）人
1 回当たりの平均参加児童数（ 56 ）人	登録児童数（ 113 ）人

番号	項 目	成 果 と 課 題 等
1	教 室 の 方 針	子ども達の安心・安全な居場所作りを目標
2	年間事業計画	予定通り開催できました
3	活 動 内 容	宿題・スポーツ・物作りなど (ミニバレー・バドミントン・大縄・ドッチボール・バスケット・ぬりえ・折り紙など)
4	子 ど も の 指 導 と 管 理	靴をきれいに並べ、ランドセルや手荷物などをきれいに並べる 物を大切に扱う インフルエンザ流行時はマスク着用の呼び掛け
5	子 ど も 参 加 状 況	毎回楽しみにしてくれています。
6	学 校 と の 連 携	教頭先生に手紙配布の協力をしていただきました。下校時間変更などの連絡を頂きました。
7	保 護 者 と の 連 携	連絡事項などは手紙配布やマチコミメールでしました 直接保護者の方とお話する機会はほとんどありません
8	予 算 の 執 行	適正にできたと思います。謝金は年２回に分けて支給しています。
9	そ の 他 運 営 全 般	学習する机が重く、毎回出し入れが大変です。 大学生のサポーターが欲しいです。

事例写真

期日 令和5年8月30日

場所 宮崎港小 体育館

活動の様子

スライム作り

みんなで楽しく作りました。
たくさん作っている子もいました。



期日 令和6年1月24日

場所 宮崎港小 体育館

活動の様子

恒例のドッジボール

友達からボールを当てられた時は悔しいけど、友達に当てた時は気持ちいい。

期日 令和6年1月31日

場所 宮崎港小 体育館

活動の様子

皿回しに挑戦

何度やっても・・・
でも時間が経つにつれ、要領が分かって上手に回せる様になりました。



教室名・年間開催回数	【憶北っずこどもクラブ】活動報告書・年間 47 回
公民館・学校名	憶公民館・憶北小学校
活動場所・時間等	憶北小学校 毎週水曜日 15:00～17:00 29 回 憶公民館 月 2 回土曜日 9:30～11:30 18 回
運営スタッフ	コーディネーター 1 人、教育活動サポーター 6 人
参加児童	1 回当たりの平均参加者数 水曜日 85 人 / 土曜日 20 人 登録児童数 152 人

番号	項目	成果と課題
1	教室の方針	子どもたちの安全を第一条件として、自主性を重んじ、安心して楽しく過ごせる居場所にする。
2	年間事業計画	概ね計画通りに実施できたが、感染症による中止があった。
3	活動内容	図書室では、宿題や小物作りなどを行っている。小物作りは毎回子どもたちが殺到するほどの人気がある。 体育館ではコーディネーターが考えたゲームやドッジボール、バドミントンなど、主に体を動かす遊びに取り組んでいる。子どもたちが独自に作り出す遊びもあり、とても楽しんでくれている。
4	子どもの指導と管理	受付を必ず行ってもらい、参加者の把握に努めた。ランドセルなどは決められた場所に置く・自分で使ったものは必ず片付ける・片付けの時間には必ず何か 3 つを片付けることなどを指導している。また、ボール遊びとそうでない遊びとの場所を分ける、夏場は特に途中での給水を呼びかけるなど、安全な活動が出来るように心がけている。
5	子どもの参加状況	毎回楽しみにしてくれている。参加者が年々増加している。高学年の参加が少ないが、中学生が時々参加してくれ助かっている。後半は感染症の影響もあり参加者が減った。
6	学校との連携	教頭先生を通じて、学校とは連携がとれている。 先生方には、児童への文書の配布などご協力いただいている。
7	保護者との連携	毎月の活動内容文書を配布したり、まち comi を利用して連絡を行っている。直接話をする機会は少ないが、cooking の申込書に一言添えられていることがあり、とても嬉しくなる。
8	予算の執行	適正に執行できた。
9	その他	参加者が増えたので、子どもたちの安全確保のためにもサポーターを増やしたいと思うがなかなか難しい。今後もサポーター確保と子どもたちが楽しんでくれるプログラム作りに尽力したい。

★令和5年7月15日・22日(土)

憶公民館

＜ソーセージエッグマフィン＆ハッシュドポテト＞

夏休みのお昼ご飯に、と思い某ファストフード店の人気メニューを再現しました。みんな簡単にできることに驚きつつ、完璧な見た目のできあがり到大興奮でした。「すごくおいしかった!!!」と言ってもらえました♪



=====



★令和5年10月18日(水)

憶北小学校 体育館

＜玉入れ＞

運動会の前だったので、新聞紙で作ったボールで玉入れをしました。入れるかごが動くので、みんなどうやったらたくさん入るか悩みつつ、歓声を上げていました。

=====

★令和5年9月20日(水)

憶北小学校 図書室

＜猫のしっぽフック作り＞

工作が大好きな憶北っ子たち。フェルトを組み合わせ、いろんな猫が出来ていました。自分の家で飼っている猫に似せたり、飼ってみたい猫を作ったり、実際にないようなびっくりする柄の猫ができあがったり。。子どもたちの想像力を楽しみました。



教室名・年間開催回数	【南っ子放課後子ども教室】活動報告書・年間 47 回（1月まで）
公民館・学校名	赤江公民館 ・ 宮崎南小学校
活動場所・時間等	・宮崎南小 → 毎週水曜日 15:00～17:00 28 回 ・赤江公民館 → 毎週土曜日 13:30～15:30 19 回
運営スタッフ	コーディネーター 1 人 , サポーター 12 人
参加児童	1 回当たりの平均参加児童, 水曜日 56 人 ・ 土曜日 13 人 登録児童数 181 人

番号	項 目	成 果 と 課 題
1	教室の方針	○地域の子どもを地域で育てることから、安心して安全に遊べる場を提供して楽しく活動させる。 ○色々な活動に自主的に取り組ませ、集団活動の中で良好な人間関係を身につけさせ、いつも楽しく活動させる。
2	年間事業計画	・コロナ感染症が5類扱いになって、計画した事業は予定通り実施できた。 餅つき体験（特別行事）に大宮高校への留学生（1名）が参加した。
3	活動内容	・ミニバレー、バドミントン、卓球、ボール運動、縄跳び、けん玉、コマ回し勉強（宿題）、大正琴演奏など多種の活動内容に自主的に取り組ませている。 ・初めて取り組む子どもには、コーディネーター・サポーターが指導に当たる。
4	子どもの指導と管理	・安心して安全に遊べる用具等を準備して、自主的に活動させている。 ・終わりの時間が近づくと、後片付けや清掃を嫌がり帰り出す子供がいる。 今後も「最後まで残って挨拶して帰る」指導をしていきたい。
5	子どもの参加状況	・受付時の挨拶と名前は言えるが、声の小さい子どもがまだ多い。 ・子どもたちは楽しく元気に遊んでいる。5年生の参加者が少ない。 ・土曜日の公民館での活動には、今年度も参加者が少なかった。
6	学校との連携	・子ども教室に関する文書の配布と回収を担当と教頭先生にお願いしている。 ・学校の理解と協力があり、連携は十分図られている。
7	保護者との連携	・案内文書や月別（3ヶ月分）活動内容文書を配布しているので、教室の様子は理解していただいている。問題行動等は特になかった。
8	予算の執行	・効率的な予算の執行ができた。
9	その他運営全般	・土曜日の赤江公民館においては、体育館利用グループにボランティア当番として子どもたちの活動支援に当たっていただいている。

教室名（南っ子放課後子ども教室）



- ・期 日 令和 5 年 5 月 27 日(土)
- ・場 所 赤江公民館(体育館)
- ・コメント 初めての吹矢, 難しかったが楽しかった。(指導者: スポーツ吹矢同好会)



- ・期 日 令和 5 年 11 月 19 日(土)
- ・場 所 赤江公民館(体育館)
- ・コメント 二人だけの大正琴の演奏, 上手に弾けて嬉しかった。

教室名（南っ子放課後子ども教室）



- ・期 日 令和 5 年 11 月 29 日(水)
- ・場 所 宮崎南小学校(体育館)
- ・コメント 長縄跳び,何回か引っかかったが,楽しく跳べた。



- ・期 日 令和 5 年 12 月 2 日(土)
- ・場 所 赤江公民館(駐車場)
- ・コメント 上手につけて,楽しかった「餅つき体験」,でも杵が重かった。

教室名・年間開催回数	【鏡洲放課後子ども教室】 活動報告書・年間 119 回（1 月現在）
公民館・学校名	鏡洲小学校
活動場所／時間等	放課後子ども教室 毎週 月・火・木・金 14：00～17：10
運営スタッフ	コーディネーター1 人 サポーター12 人
参加児童	1 回当たりの平均参加児童 18 人 登録児童数 24 人

番号	項 目	成 果 と 課 題
1	教室の方針	本地区には、子どもの居場所となる施設等がなく、放課後子ども教室は、重要な事業である。安全で、楽しく活動できるように努めている。大きな怪我もなく、子ども同士のいさかいも少なく、目標は達成していると思う。
2	年間事業計画	本年度は、木花児童センターの協力のもと 2 回のイベントを計画している。センターの先生のご指導のもと子供達も楽しく過ごすことが出来た。
3	活動内容	学校の授業が終わると、学校内にお借りしている教室に集まり、宿題宅習をすませ、外遊び、室内遊びをする。雨天時以外は外で遊ぶ子どもが多く特に広い運動場で全学年交えてサッカーをしたり、バドミントンをしたり大きな怪我もなく楽しく過ごすことが出来た。
4	子どもの指導と管理	日常生活の基本となる挨拶、御礼、整理整頓等について指導する。また、本教室は、サポーターの子どもたちに対する声掛け、学校の先生による声掛け等もあり、安全に楽しく行われている。
5	子どもの参加状況	全校児童 24 名が登録し、参加率も良い。習い事のある児童は、送迎者が来るまで参加している。1 月より児童クラブも始まりクラブ登録児童も一緒に活動できている。
6	学校との連携	教室は、同一校舎内にあり、放課後子ども教室専用としていただいております。教頭先生を窓口にご相談にのって頂いている。教室の連絡等迅速に対応して頂いて大変助けていただいている。
7	保護者との連携	保護者の約半分はサポーターにも入っていただき、大変良く協力していただいている。その他の保護者の方も、お迎えの時に会話をするなどして子どもの様子などを伝えることができている。
8	予算の執行	おおむね計画的に運営できている。
9	その他運営全般	目標であるサポーター増員は、呼びかけはしてみたが、増員には至らなかった。サポーター不足により当番の方に負担が増えて申し訳ないと思っている。次年度は開催日程が少なくなるのだが、現 6 年児童が卒業にあたりサポーターが減少してしまうのでまた対策が必要となる。

事例写真



令和5年12月1日

児童センターの先生をお招きして紙粘土製作をしました。個性的な辰の置物が出来ました。



教室に入るとまず宿題に取り掛かります。自分の好きな場所で集中して行います。
その後外で遊んだり室内遊びをしたり自由に遊びます。

教室名・年間開催回数	学園木花台小 放課後子ども教室 ・ 年間38回
公民館・学校名	木花公民館 ・ 学園木花台小学校
活動場所・時間帯	学園木花台小学校 ・ 毎週水曜日 14:20 ～ 16:45 35回 夏休み 9:00 ～ 12:00 3回
運営スタッフ	コーディネーター 1人 サポーター 14人
参加児童	1回当たりの平均参加児童数 35人 登録児童数 70人

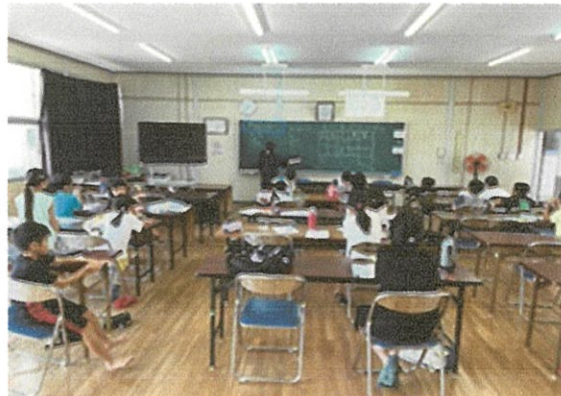
番号	項目	成果と課題
1	教室の方針	＜安心安全な居場所づくりと異学年や地域サポーターとの交流を深める＞ 年間を通してたくさんの子ども達が継続して参加していることから目標が達成されていると思う
2	年間事業計画	今年度は一度お休みがあったが事前連絡ができた 他は予定通り活動できた
3	活動内容	＜学習、室内遊び、軽スポーツ＞ 入室後すぐ学習に取り組み、教え合ったりしている 室内ではボードゲームやお絵描き、折り紙 体育館ではバレーボール、ドッチボール、バドミントン、鬼ごっこ 縄跳びなどで遊んでいる
4	子どもの指導と管理	手指消毒、迎えの有無、体調チェック、窓は終始換気し、帰宅時は時間を記入させている 揉め事は即時対応するようにしている 全体の見守りができるようサポーターを配置している
5	子どもの参加状況	年間を通して1～4年生の参加人数が多く元気が良い 高学年が学習や遊びなどに対応してくれることも多い
6	学校との連携	毎月の学校行事の予定をもらっているので計画を立てやすい 教室が使えない場合は早い連絡、インフルエンザが増えたときは、空気清浄機やサーキュレーターの準備をいただき安心して活動できた 新規加入希望者がいる場合も電話連絡などで連携できた
7	保護者との連携	1年生のみ参加やお迎え確認の連絡帳を作り、保護者と担任のサインをお願いしている 怪我をした時などはお迎え時に様子や保険などの説明をしている 教室がお休みとなる時は事前文書や学校からのメールをする
8	予算の執行	サポーターの参加が不安な時期もあり心配したが何とか予定通り 消毒費用をそろそろ少なくしようとしたが、やはりインフルエンザも毎年のことなので昨年と同様にしたい
9	その他 運営全般	熱心な地域サポーターの参加で運営できたが、次年度はPTAにも活動を詳しく知ってもらい、サポーターの人数を増やし、将来引継ぎのできる人材を育てていきたい

事例写真 「学園木花台小放課後子ども教室」

7月 夏休み学習会学習の様子



休憩時間に頭の体操



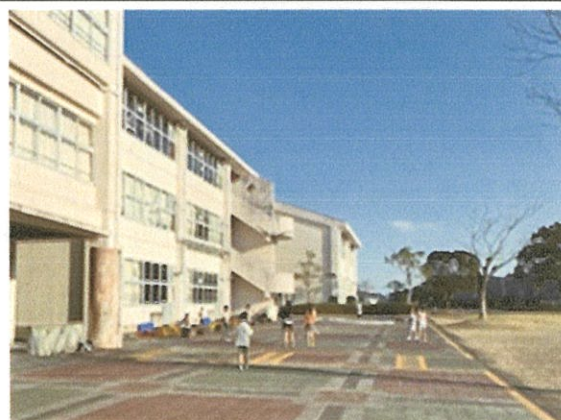
7月 夏休み手作り講座 スノードーム作り



11月 体育館でサッカー



11月 レインボー広場で鬼ごっこ



教室名・年間開催回数	【瓜生野小放課後子ども教室】活動報告書・年間44回予定
公民館・学校名	瓜生野小学校
活動場所・時間等	瓜生野小（多目的室）毎週水曜日 14:15～16:30 42回 ※学校終了時間により開始時間の変更有 〃 （体育館）8月 2日（水）13:30～15:30 1回 12月23日（金）14:15～16:30 1回
運営スタッフ	コーディネーター1人、サポーター19人
参加児童	1回当たりの平均参加児童56人、登録児童数91人

	項 目	成 果 と 課 題
1	教室の方針	登録した異学年の子ども達が放課後や夏休み中に学校の空き教室や公民館を利用し安全で安心して過ごせる居場所を作る。 参加した子ども達が教室のきまりを守りながら、楽しく過ごせるように教育活動サポーターが見守りを行う。 夏休み中は出前講座を利用し体験活動を行う。 地域の方やまちづくり推進委員会の協力を頂きクリスマス会を開催する。
2	年間事業計画	4月の開始からほぼ計画通り開催できた。 8月には台風接近により出前講座受講を1回中止した。 12月はクリスマス会を開催した。
3	活動内容	教室の入り口で各自の判断で手指消毒、検温を済ませたら出席簿に参加時間を記入し各自で静かに宿題をする。残りの時間は自由に遊び工作、アイロンビーズ、プラ板、卓球、ボードゲーム等教室内で過ごしている。 帰る時は退出時間を記入して下校する。 季節に応じた工作や活動、地域の高齢者へメッセージカードを作った。
4	子どもの指導と管理	募集の案内と共に教室の約束事のプリントを配布し、参加した子ども達が回りに迷惑をかけないように、仲良く楽しく過ごせるようにしている。 あいさつや言葉使いは活動中にも気付いた時に注意し、もめごと等があればお互いの意見を聞いて仲裁した。
5	子どもの参加状況	登録は年度初め以外にも希望者には随時行っているため今年度も90人を超え参加する子ども達も平均50人以上になっている。 夏休みは募集案内し希望者のみ参加している。
6	学校との連携	校長先生をはじめ先生方が様子を見に来て下さり、騒がしい時には注意して頂き、配慮が必要な子どもの情報も共有できている。 年間の行事予定や随時下校時間の変更の連絡も頂いている。
7	保護者との連携	お迎え時は情報交換をしており、連絡先をお知らせし個別に相談も受けている。急な連絡はマチコミメールで学校からお知らせして下さった。 提出書類遅れや不備、未提出のご家庭もあり、お迎えに遅れる事もあった。
8	予算の執行	年度始めより、子ども達の参加人数も増え教育活動サポーターへの報償費が予定より増額している。その分需要費については教材や消耗品等の購入も随時行ったが減額となると思われる。
9	その他運営全般	昨年度より活動場所の多目的室が冷暖房完備になり快適に過ごせるようになった。机が重く移動が大変なので、少しずつキャスター付きの机を増やして下さるとの事だった。 公民館の協力も頂いており、総合文化祭には子ども達の作品を出展し、地域の方に見て頂いた。 12月のクリスマス会も地域内外から、たくさんの協力を頂いて参加した子ども達がとても喜んでいた。

瓜生野小放課後子ども教室



令和5年7月5日 七夕飾りづくり
短冊に願い事を書いて飾りました

令和5年7月26日 ダンス体験講座受講
多目的室でHIP-HOPとK-POPを音楽に合わせて
踊り みんなではじけました



令和5年8月2日 青島青少年自然の家 講座受講
体育館で楽しくニュースポーツの体験をしました



令和5年8月23日 多目的室でリサイクル工作
エコクリーンプラザみやざき ほがらか・げんき会
の皆さんにエコな体験させていただきました



令和5年11月18日・19日
西部地区農村環境改善セン
ター
公民館総合文化祭 作品展

令和5年12月22日
待ちに待った クリスマス会
体育館で 歌・篠笛演奏・ゲー
ム
サンタさんも来てくれて
楽しい時間を過ごしました



教室名・年間開催回数	【住吉小放課後子ども教室】活動報告書・年間 30 回
公民館・学校名	住吉小学校
活動場所・時間等	住吉小体育館 毎週水曜日 14:30～17:00
運営スタッフ	コーディネーター1人、サポーター14人
参加児童	1回当たりの平均参加児童 26人、登録児童数 55人

番号	項 目	成 果 と 課 題
1	教室の方針	「安心安全な居場所づくり・明るく元気な活動」 ケガや事故にお互い注意しながら、子ども達もスタッフも全力で遊ぶ！ 「水曜日が待ち遠しい」と言ってもらえる楽しい放課後教室の実施。
2	年間事業計画	毎週水曜日に開催。感染症による学級閉鎖時は休止とした。 それ以外は、ほぼ年間計画通りに実施した。
3	活動内容	・宿題終了後は自由遊び。バドミントン、縄跳びや子どもたちの意見を聞き新たにテーブルゲームや脳トレパズル等も購入しそれぞれ自由に楽しんでいる。 ・今年度より月末を「ワクワクDAY」とし、スタッフで内容を考えてみんなで楽しめるレクリエーションや季節の工作を行った。保護者にも参加を呼び掛けた。
4	子どもの指導と管理	・昨年同様、夏場の体育館の熱中症対策としてこまめな水分補給の呼びかけ、参加児童の保護者へは大きめの水筒やタオル、着替えの準備をグループLINEにて呼びかけた。 ・扇風機の活用、換気の徹底。 ・ボールを強く蹴る、高いところへ上る等の危険なことはしない様、根気強く注意した。 ・注意がなかなか伝わらない児童への対応が難しいが、スタッフでも共有し、あきらめずに我が子のように対応するよう心掛けた。 ・帰る際は、使用した道具の片付けや忘れ物の声掛け、持ち物の記名確認を行った。
5	子どもの参加状況	25人前後で固定化している。スタッフの人数と合わせても密にならずちょうどよい。
6	学校との連携	・下校時間や行事の変更等、教頭先生や教務主任の先生から都度連絡を頂けるので助かっている。先生が戸締り確認時に様子を見に来てくださる。 ・PTAで共有使用できる机等の備品を購入予定。サイズ等の要望を聞いて頂きありがたい。
7	保護者との連携	グループLINEで予定変更や忘れ物、活動の写真等情報の共有を行っている。体育館までお迎えに来てもらうようにしているので保護者への連絡等もスムーズにできている。
8	予算の執行	報償費は学期ごとに集計して支払いを行った。需用費も必要なもの、買い替えが必要な物をスタッフと相談しながら適切に執行した。
9	その他運営全般	・スタッフ配置は早番2～3名（14時～16時）遅番2～3名（15時～17時）の交代制で行った。 ・スタッフ間の連絡等もグループLINEを通して行い、急な変更や情報共有に役立った。

事例写真



令和5年5月10日(水)
学年関係なく一緒に遊びます。
ケンケンパじゃんけん楽しそう。



令和5年10月4日(水)
6年生チーム
テーブルゲームで楽しんでいます。



令和5年11月29日(水)①
ワクワクDAY「秋の工作」
秋の木の葉で何が出来るかな？



令和5年10月25日(水)
ハロウィンに合わせてゾンビダンス♪
スタッフがノリノリです。



令和5年11月29日(水)②
松ぼっくりやどんぐり、綿花で
可愛いトトロ？完成



令和5年12月19日(水)
新しく購入したツイスターゲーム。
全身を使って遊びます。

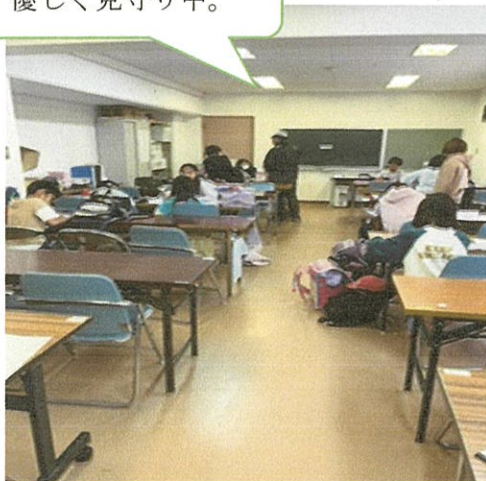
教室名・年間開催回数	【住吉南っ子放課後子ども教室】活動報告書・年間29回
公民館・学校名	住吉南小学校
活動場所・時間等	住吉南小体育館およびミーティングルーム 毎週水曜日 14:00～17:00（変動あり） 29回
運営スタッフ	コーディネーター1人、サポーター12人
参加児童	1回当たりの平均参加児童41人、登録児童数83人

番号	項 目	成 果 と 課 題
1	教室の方針	児童が安心して楽しく過ごせる居場所づくりを提供したい。 地域の人たちとの交流の場を増やし、子供たちにいろいろな経験をさせたい。
2	年間事業計画	本年度は当初より予定していた活動日数をほぼ実施することが出来ました。
3	活動内容	宿題、宅習、自由遊びを実施しました。今年度は登録児童数が多かったため、みんなでリレーをしたりドッジボールをして盛り上がりました。
4	子どもの 指導と管理	入室の際は必ず挨拶・受付をしてもらうようにしています。 体育館を利用の際、体育倉庫やステージ横倉庫で遊ばないように指導しています。
5	子どもの 参加状況	人数が増えたことにより遊びにも幅が増えたのですが、逆に目が行き届かないことも増えたように思います。当初計画していた外遊びも実行することはできませんでした。
6	学校との連携	校長先生、教頭先生にはいろいろご協力頂きました。ありがとうございました。
7	保護者との連携	連絡事項がある場合にはグループLINEにてお知らせしています。 今年度のお迎えは1～3年生はお迎え、4～6年生は徒歩下校としましたが、とくに大きな混乱もなくスムーズに下校できました。
8	予算の執行	謝金と消耗品で、使用予定です。
9	その他運営全般	やはり人数が増えたことによりサポーターの1日当たりの人数が足りていないと実感しています。サポーターの目が行き届かないことにより、遊んではいけないとしている体育倉庫やステージ横倉庫で遊ぶ児童が非常に多いです。その都度注意したり倉庫前で見張ったりしていますが、そうすると今度は他の場所で遊ぶ児童に目が行き届かなくなり、悪循環を繰り返しているのが現状です。

事 例 写 真（令和5年度 住吉南っ子放課後子ども教室）

令和5年1月10日（水曜日）

宿題がんばれ！
優しく見守り中。

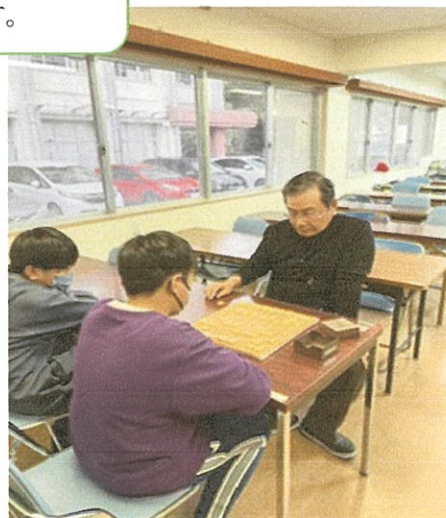
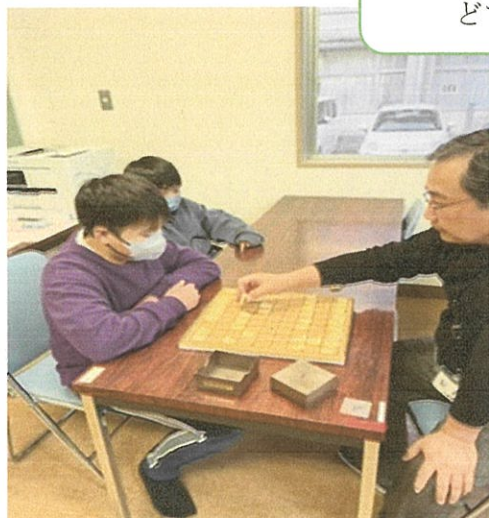


何人続けて入る
か挑戦中！！



南っ子リレー大会開
催中！！
どちらのチームが勝
つか？
どちらもがんばれ～

将棋の先生に教えてもらって
います。
どちらも真剣です。



教室名・年間開催回数	【生目っ子放課後教室】活動報告書・年間29回
公民館・学校名	生目公民館・生目小学校
活動場所・時間等	生目小 毎週水曜日 15:00～17:00 29回
運営スタッフ	コーディネーター1人、サポーター10人
参加児童	1回当たりの平均参加児童26人、登録児童数70人

番号	項目	成果と課題
1	教室の方針	※ 放課後の子供達の居場所作りと、ストレス発散の場所として提供出来る事、低学年、高学年の壁を取り除きみんな仲良く助け合って、楽しく過ごせる事を目標とした。又、挨拶の出来る子を文章で周知し、父兄にも環境づくりを呼び掛けた。
2	年間事業計画	※ 学校側の都合により、開始時間が早まり、サポーターの方に都合を付けて頂いた事があった。 内容は予定通り実施出来た。
3	活動内容	※ 遊びの道具を、新しく導入しても直ぐ飽きられ、ミニバレーボールが毎回人気だった。 低学年は、軽スポーツが人気。
4	子どもの指導と管理	※ 子供同士で、時々口喧嘩や、追いかけが見られたときは、必ず周りの子の証言を聞き、『ごめんなさい』でお互いを納得させた。
5	子どもの参加状況	※ 低学年ほど参加人数が多く、4年生が応募人数が多いわりに当日の参加数が少なかった。
6	学校との連携	※ 今年度、校長、教頭と入れ替わりがあつて、全員初めての取り組みでしたが、忙しい中、教頭先生が対応して下さい、感謝している。
7	保護者との連携	※ 軽い擦り傷、打ち身等の場合、手当をして、家での対応を本人に指導した上で、必ず父兄に電話を入れて、説明をした。 開催日程表は、その都度書面で周知した。電話対応も受けた。
8	予算の執行	※ 報償費は、年3回をめぐに支払い計画的に執行出来た。 必要な物品は、サポーターの方にその都度相談して購入した。 謝金は、前コーディネーターにお知恵を頂いた。
9	その他運営全般	※ 父兄から、放課後教室がある朝は、楽しみに登校するとのコメントを頂いた。 サポーターの方も子供達に寄り添い、微笑ましい光景を見た。 男性のサポーターも数人居て、心強く、助かる事が多い。

事 例 写 真（ 生目っ子 放課後子ども教室 ）

風船あそび



期 日 令和5年7月5日

場 所 生目小体育館内

コメント アートバルーンを講師を招いて動物を作成中

学習指導



期 日 令和5年9月20日

場 所 生目小教室内

コメント 教室で宿題を頑張ってる様子。

教室名・年間開催回数	【小松台小放課後子ども教室】活動報告書・年間39回
公民館・学校名	生目公民館・小松台小学校
活動場所・時間等	小松台小 毎週水曜日 14:30～16:30 39回
運営スタッフ	コーディネーター1人、サポーター6人
参加児童	1回当たりの平均参加児童46人、登録児童数88人

番号	項 目	成 果 と 課 題
1	教室の方針	「地域の子ども達は地域で育てる。」という目標のもと、安心・安全な居場所づくりに貢献できた。子ども達の育成に情熱をもった教育サポーターの努力の賜である。
2	年間事業計画	コロナやインフルエンザ等で中止ことなく、年間を通して全て計画通り実施できた。
3	活 動 内 容	ふれあい教室では、宿題を終えた子はビー玉遊びやこま回し、オセロゲーム、編み物、折り紙、読書等で過ごす。 体育館では、ドッジボール、バドミントン、縄跳び、ボール遊び、折り紙、編み物等を行っている。体育館での活動は、前半はゲーム中心、後半は自由遊びとして、遊びの選択肢を増やしている。 子ども達は伸び伸びと楽しそうに活動し、上・下学年協力し合い、事故や言い合い等は起こっていない。
4	子どもの指導と管理	子どもが入室する前に机の消毒と全ての窓を開け換気を行っている。 子どもが入室したら、体温を測定、手指消毒し出席簿に記入する。 室内でのマスク着用は個人の判断とする。 夏季の体育館活動は、熱中症対策として大型扇風機の活用や水分補給に留意した。活動前に体育館シューズの確認と安全指導を行っている。
5	子どもの参加状況	近くの公園でプレパークの活動が年間を通して実施され、事前報告した早退者も数人いる。 児童クラブに行っている子で水曜日だけ子ども教室来ている子もいる。 毎回5～6名で対応しており、個別指導や安全指導も出来ている。
6	学校との連携	先生方も協力的で、文書の配布も気軽にに応じていただいている。 教頭先生と教務主任の先生には随時活動状況を報告している。
7	保護者との連携	活動計画を年3回配布しているが、その度活動状況の報告や協力してほしい事柄を記載し、可能な限り連携をとっている。
8	予算の執行	報償費は、次の月の初日に支払っている。予算については、報償費が不足したが、授与費から流用して予定通り有効に執行出来た。
9	その他運営全般	1年生～6年生まで50名前後が活動している。 特に言動については学年に応じた指導をしている。 体育館での活動は、異学年間で仲良く協力しながら楽しく活動している。

事 例 写 真 (小松台小学校子ども教室)

○ 宿題や読書の時間

- ・期 日 令和5年6月14日(水)
- ・場 所 小松台小学校ふれあい教室
- ・コメント 真面目に宿題に取り組み、サポーターも真剣に指導・助言をしています。



○ 積み木で遊ぼう

- ・期 日 令和5年11月8日(水)
- ・場 所 小松台小学校ふれあい教室
- ・コメント どこまで積めるか真剣に取り組んでいます。



教室名・年間開催回数	【本郷地区放課後子ども教室活動報告書・年間 76 回（1 月まで）
公民館・学校名	本郷公民館・国富小学校・本郷小学校
活動場所・時間等	国富小学校毎週水曜日 14：00～16：00 35 回 本郷公民館 毎週土曜日 10：30～12：00 41 回
運営スタッフ	コーディネーター1 人、サポーター14 人
参加児童	1 回当たりの平均参加児童水曜日 28 人、土曜日 15 人登録児童数 114 人

番号	項 目	成 果 と 課 題
1	教室の方針	国富小学校の水曜日下校時は 14：00 のために、子供たちは下校になると教室に集まり自主的に宿題に取り組みます。 自分の好みの色々なスポーツに取り組み時間の許す限り活動を行い別に他にクラブ活動を行う生徒は早めに帰ります。自由帰宅にしています
2	年間事業計画	事業計画として、年間 80 回目標であったが新型コロナウイルスのために、会場が使用禁止になりましたが、4 年ぶりの夏のソーメン流しを行い子供達には大好評でありました。
3	活動内容	宅習、宿題については、家庭科教室で始めに取り組みが終わりまし後に、体育館に於いてバトミントン、ドッジボール、サッカー遊び、ミニバレー、バスケット、皿回し等 新入生についてはサポーター、コーディネーターが指導しています。
4	子どもの指導と管理	サポーターの指導ができるスポーツは相手になり、無理のない指導を子供達が怪我のないように行っています。最後の館内の掃除も子供達が自主的に行うように最後まで指導しています。
5	子どもの参加状況	指導者に関しては、国富小の参加が最低 20 名は参加だと思って、4 名～5 名のスタッフが待機しています。少人数でありましたが 11 月頃より増え子供達も楽しく励んでいます。
6	学校との連携	学校長、教頭先生とは、常に交流を行っています。保護者の方とは迎へに来られた時にはお互いにお話します。地区内の花を年に 4 回ほど植栽を栽培委員会の子供達 20 数名、校長先生、担当先生はじめ、楽しく行っています。
7	保護者との連携	保護者とは送迎される方にいつも、子供と一緒に遊びませんかと呼び掛けています。子供と一諸にあそんで、楽しむ保護者も数人はいらっします。
8	予算の執行	今年は予算については、計画的に執行はできました。
9	その他運営全般	今年は事故もなく助かりました。参加者が平均 25 名～40 名以上になるように子供達へよびかけます。 子供達が大勢参加出来るようにスタッフは頑張っています。

<令和5年8月26日 ソーメン流し（本郷公民館体育館・裏庭）参加者：20名>
 今年は4年ぶり実施しました、子供達は大変な喜びでありました。



令和5年12月23日 クリスマス球技大会（本郷公民館体育館）参加者：20名>
 室内でサッカー（タグダグビー）を初めて体育館内に於いて行い子供たちは大いに楽しみました。
 最後にサンタさんのプレゼントに、ニコニコ顔でした。



【大塚小放課後子ども教室】活動報告書		
1	公民館・教室名・年間開催回数	<大塚公民館・大塚小学校・34回>
2	活動場所・開催曜日・時間・回数	水曜日(16回) 土曜日(18回) ○原則第一・第3水曜日(14:00~17:00) 大塚小学校及び大塚公民館 第二・第四土曜日(9:30~11:30) 大塚公民館
3	教室関係者	コーディネーター(1)人 教育活動サポーター(14)人 1回当たりの平均参加者数 水曜日(40)人 / 土曜日(12)人 全登録者数(83)人
成果と課題		
4	教室の方針	安心で安全な居場所づくりを心がけ、「楽しく」「仲良く」異学年や地域の人との交流を図りルールを守って活動できた。
5	年間事業計画	コロナ感染学級閉鎖があったが計画通りに実施できた。
6	活動内容	宿題・宅習・紙工作・ニュースポーツ(ミニテニス・バトミントン・卓球バレー・縄跳び・トランポリン)など楽しく体験。体を動かすことを心がけ、活動に取り込む。
7	子どもの指導と管理	コロナ感染防止策、健康チェック、検温、マスク、消毒など徹底し、安全に気をくばる。「仲良く」「挨拶をきちんとする」「上級生が下級生の面倒をみることを指導している。
8	子どもの参加状況	コロナ感染者が少し収まったと思いきや、インフルエンザ感染学級閉鎖などで参加者が減少した。
9	学校との連携	連絡事項はマチコミメールやPTAを通じて連携を図っている。
10	保護者との連携	案内状や名簿作成・下校班などの作成にボランティアの保護者の協力をもらい、毎回サポーターとともに子どもの安全に気を配って頂いている。
11	予算の執行	計画した回数の教室実施はできたが、参加者が少なかったので予算は予定通り執行できなかった。
12	その他運営全般	今年度PTAの組織が変わり、連携に少し戸惑ったが公民館指導主事にアドバイス頂き運営した。



期 日：令和5年7月8日（土）

場 所：大塚公民館

コメント：

トランポリンを使ってバランス感覚
楽しく遊ぶ。

期 日：令和5年7月5日（水）

場 所：大塚公民館

コメント：

七夕飾りを作り、願い事込めて
飾りました。



期 日：令和5年9月6日（水）

場 所：大塚公民館

コメント：

紙コップと紐・鈴で風鈴作り
いい音色。



期 日：令和5年11月15日（水）

場 所：大塚小学校（体育館）

コメント：

マインディスクスティックカーリング
なかなか思うように滑らず、スティック
の使い方にも時間が経つことに慣れて
楽しんでいました。

期 日：令和5年12月23日（土）

場 所：大塚公民館

コメント：

Tバッティング野球を楽しみました。



期 日：令和6年3月6日（水）

場 所：大塚公民館

コメント：

今回の放課後教室は体育館が卒業式
準備のため急遽公民館を借用。

教室名・年間開催回数	【江南わくわく子ども教室】活動報告書・年間27回（予定）
公民館・学校名	大塚公民館・江南小学校
活動場所・時間等	江南小 第2・第4水曜日 13:00～17:00 1回 14:00～17:00 3回 14:30～17:00 8回 大塚公民館 第1・第3土曜日 13:00～15:30 4回 13:00～15:00 12回 日曜日 9:00～13:00 1回
運営スタッフ	コーディネーター1人、サポーター8人
参加児童	1回当たりの平均参加児童 水曜日36人、土曜日13人、日曜日9人 登録児童数74人

番号	項目	成果と課題
1	教室の方針	異学年での遊びや交流を通して、人との関り方や社会性を身に着ける。安心・安全に配慮し元気に遊ぶ。時にぶつかり合いながら、お互いを尊重しあう優しさを育む。
2	年間事業計画	コロナ感染やインフルエンザの流行で、日程を変更しながらほぼ予定どおり実施できた。
3	活動内容	水曜日は、宿題・学習・ニュースポーツ・ドッジボール・バドミントン・大縄など体育館で活動できる遊びが中心である。土曜日は、生け花や茶道など公民館を利用して活動できる事が中心である。
4	子どもの指導と管理	感染予防対策を呼びかけ、手指の消毒を実施した。夏は、体育館がサウナのように高温になるため、熱中症対策にも心がけた。時々けんかにもなるが、その都度双方の意見を出し合い解決するよう導いた。
5	子どもの参加状況	インフルエンザが流行し、学級閉鎖で子どもたちが参加できない時期が続いた。
6	学校との連携	学校の行事や下校時刻等の学校案内をマチコミメールで確認できるなどとても良かった。それ以外の連絡などは、教頭先生から来るなど学校の協力もいただいて、連携が取れていたと思う。
7	保護者との連携	保護者からの連絡などスムーズに取れてとても活動しやすかった。1年生の保護者が、様子を見に来られて保護者同志の交流もできて良かった。
8	予算の執行	熱中症対策で下校時間が早くなったりするので、実施時間が長くなり、報償費の調整が必要になってくる。報償費は、年度末に一括して支払うのでとてもやりやすい。 破損した道具の修理や補充ができてありがたい。
9	その他運営全般	今年もPTAのお手伝い担当者の協力を得て、スムーズに実施できた。教室が終わるとその都度、反省や意見などを出しあい今後に生かしていくのでスタッフの共通認識ができてよかった。

事例写真



令和5年8月5日(土)
大塚公民館にて 子ども生け花教室



令和5年9月27日(水)
江南小学校体育館にて みんなで大縄



令和5年11月18日(土)
＜子ども生け花＞
日頃の成果を発表する
大塚公民館文化祭展示



令和5年11月11日(土)
大塚公民館和室にて 文化祭の野点 リハーサル



令和5年12月16日(土)
＜お楽しみ会＞
みんなでお菓子作りを
楽しみました

教室名・年間開催回数	【宮崎東小放課後子ども教室】活動報告書・年間31回(予定)
公民館・学校名	東大宮地区コミュニティセンター・宮崎東小学校
活動場所・時間等	宮崎東小体育館・クラブハウス 毎週水曜日 14:30～16:30
運営スタッフ	コーディネーター1人、サポーター8人
参加児童	1回当たりの平均参加児童56人、登録児童数83人

番号	項目	成果と課題
1	教室の方針	※ 安心、安全に、楽しく伸び伸び遊べる居場所づくり。 地域の方と交流することで、挨拶することや、ルールを学ぶ。
2	年間事業計画	※ 学校の行事で開催できない日もあったが、計画通り、毎週水曜日に開催した。1年生の参加募集も、10月に行うことができた。
3	活動内容	※ 宿題を終わらせ、体育館では、ボール遊び、バドミントン、フラフープ、鬼ごっこなど、子どもたちで仲間を募り行っている。クラブハウスでは、オセロやトランプ、絵描き、折り紙や製作活動を行っている。今年は、外遊びも取り入れた。児童クラブのお友達と遊んでいる姿が見られた。 今年度も、学校、PTAのご協力をいただき、7月に2回プール活動を行うことができた。12月は、クリスマス会を開催した。5年生の女子児童が企画から準備、進行まで行い、楽しく開催することができた。 ボランティアで講師の方に来ていただき、6月と12月に、フラワーアレンジメント体験も実施した。(材料費は実費のため、希望者のみ)
4	子どもの指導と管理	※ 受付時の挨拶、靴を並べる、ランドセルの整頓は、引き続き指導を行った。自らやりたいことを見つけ、準備し片付けまですることを目標とした。片付けについては、毎回声掛けを行った。
5	子どもの参加状況	※ 毎回楽しみにしてくれている。途中加入する児童が、増えていったが、プールやイベントのみ参加する児童も多かった。
6	学校との連携	※ 学校の行事の確認や、児童の相談を行うなど、学校とは連絡を取るようになっている。
7	保護者との連携	※ ラインの公式アカウントを教室名で作り、SNSでお知らせするようになっている。個々にも連絡が取れるため、以前より保護者との連絡が取りやすくなった。
8	予算の執行	※ 適正に執行している。
9	その他運営全般	※ 地域の方や、保護者にも呼びかけを行ってはいるが、サポーターの人員確保に苦戦している。また、子どもへの指導も、どこまで踏み込んでよいか悩ましい。

事例写真

《普段の子どもたちの活動》

クラブハウスでは、サポーターさんとトランプや会話をする姿が見られる。また、絵を描いたり、折り紙や工作を行ったりしている。体育館ではボール遊びや、バドミントン、外遊びでは、上り棒やレンジャーロープ、鉄棒の練習を行っている様子が見られた。



《季節の活動》

7月に2回プール活動

6月、12月にフラワーアレンジメント教室



教室名・年間開催回数	【東大宮小学校放課後子ども教室】活動報告書・年間 29 回
公民館・学校名	東大宮小学校
活動場所・時間等	東大宮小体育館 毎週水曜日 14:30～16:30 29 回
運営スタッフ	コーディネーター1人、サポーター10人
参加児童	1回当たりの平均参加児童 52人、登録児童数 88人

番号	項 目	成 果 と 課 題
1	教室の方針	子ども達が放課後、安心して楽しい時間が過ごせるように「見守り」を中心とした活動をする。自由遊びを中心としながら、サポーターの程よい距離感の関わりにより、子ども達はのびのびと過ごすことができた。
2	年間事業計画	今年度はコロナ以前と同程度の活動日を確保することができた。運動会の振り替え休日の変更により、1日減ったが、ほぼ当初の計画通りに活動することができた。
3	活動内容	自由遊びを基本としながら、子ども達の希望や季節ごとの行事に合わせた企画を取り込むことによって、満足度の高い内容になったと思う。感染対策をしながらも活動の幅が広がったので、来年度はさらに充実させていきたい。
4	子どもの指導と管理	ケガがないように目を離さないことには気を配った。子ども達は異学年が混ざった遊び方やトラブルの解決の方法などをベテランのサポーターの助言を受けながら学ぶことができた。危険な行動などは厳しく注意をしている。
5	子どもの参加状況	50人程度が平均。活動場所に対する参加人数としては適当。サポーターの配置人数としても、場所・参加人数に対して適当な配置数と考える。企画については基本的には自由参加だが、全員参加のものも考えたい。
6	学校との連携	非常に丁寧に対応いただいた。特に子ども教室からの連絡などをマチコミメールで流して頂き、大変助かった。また、会場の不具合などお知らせするとすぐに来て対応して頂いた。
7	保護者との連携	今年度から始めた公式 LINE の運用でだいぶスムーズに連絡が取ることができるようになった。忘れ物の紹介など、マチコミメールでは伝えきれないことを公式 LINE で伝えていた。また、電話連絡で気になることをやり取りする機会もあった。
8	予算の執行	今年度からは通常の活動ができていますので、予算もほぼ執行できる予定。子ども達にできるだけ有意義なことに予算を執行できるよう、来年度も考えていきたい。
9	その他運営全般	通常活動が始まって試行錯誤の1年ではあったが、子ども達は毎回元気に参加してくれたように思う。夏休みに行ったサポーターミーティングは大変有意義な機会となった。まずは事故やケガが起こらないよう気を付けること。また、子ども教室での活動は子ども達の見守りに加え、話し相手などの役割もあるのだと実感している。引き続き、安心安全な放課後の居場所が提供できるよう努力をしていく。

事例写真



※場所はいずれも東大宮小体育館

◆帰りの会の様子◆

毎回帰りの会の時にはサポーターにその日の振り返りをしてもらいます。子ども達への問いかけをしてくださるサポーターもいます。

写真は 9 月 13 日



◆ニュースポーツ体験◆

釣りっこ、スカットボール、輪投げなどサポーターが 1 人ずつついて。大変楽しく遊びました。
7 月 12 日



◆紙飛行機飛ばし◆

よく飛ぶ紙飛行機を研究し、飛ばし大会。飾りつけなどして楽しみました。
10 月 18 日



◆防災訓練◆

年 1 回は必ず行います。津波想定で 3 階に避難した後、防災紙芝居を聞きました。
9 月 27 日



◆クリスマスカード作り◆

簡単にできるカードづくりをみんなで。完成度の高さにびっくりの大作も。
11 月 29 日

教室名・年間開催回数	西小っ子クラブ活動報告書・年間 194回
公民館・学校名	生目南公民館 宮崎西小学校
活動場所・時間等	宮崎西小学校D棟2階西小っ子クラブ教室 運動場 体育館 月曜日から金曜日の放課後2時間
運営スタッフ	コーディネーター1人、サポーター8人
参加児童	1回当たりの平均参加児童 14人 登録児童数55人

番号	項 目	成 果 と 課 題
1	教室の方針	学習や遊びをとおして、友達と仲良く楽しく安心して過ごせる居場所になるようにしてきました。消毒や換気を徹底し感染防止に努め、安全な教室で子どもたちがのびのびと過ごせるように時間を考えてきました。
2	年間事業計画	ほぼ計画通りに進めることができました。避難訓練は、学校の実施日と同日に行い、経路や安全な行動について確認する機会となりました。外遊びの機会をもっと増やしたいと考えています。
3	活動内容	まず宿題をすませるという習慣ができてきました。毎月、折り紙や身近な物を活用して季節の壁面飾り等を作り、教室の雰囲気明るく楽になりました。外遊びでは、児童クラブとサッカーや鬼ごっこをしました。
4	子どもの指導と管理	入室時の体温測定や体調を確認し、サポーターの目の届く範囲で楽しく遊ばせました。サポーターも子どもの輪に入り一緒に遊びながら見守りをして、大きなトラブルはありませんでした。担任にアドバイスをもらいながら、子どもの気持ちを大事にして対応をすることができました。
5	子どもの参加状況	年度初めは高学年の参加もありましたが、二学期、低学年が多く特に2年生はほぼ毎日参加して、自分たちで考えたままごとやカフェごっこを楽しんでいました。平均14人の参加がありました。サポーター3人での見守りは適当であったと思いました。
6	学校との連携	校長先生をはじめ担任の先生方と連携を図りながら見守ることができました。年間行事計画、毎月の教育計画、避難訓練の計画等をいただき西小っ子の活動に活かすことができました。多くの先生方に声かけをしていただき子どもたちだけでなくサポーターも励みになりました。
7	保護者との連携	迎えの保護者には入室してもらい、子どもたちの様子を見るばかりでなく、遊びにも入ってもらい一緒に過ごす機会を作りました。保護者同士の交流も増え話をする姿が見られるようになりました。保護者の思いや悩みを聴くこともでき、子どもたちの家庭での様子がわかってきました。地域で見守ってもらってありがたいという声もあり嬉しく思っています。
8	予算の執行	安全・安心な居場所づくりに必要な消毒液や石鹸を備えることができました。また、絵本や好きな本をシリーズで、知育玩具、運動用具等を購入することができ有効に使うことができました。子どもたちは色々な体験や遊びをとおして、心身ともに大きく成長してきた一年であったなと感じております。
9	その他運営全般	今年の夏も校長先生のご配慮で、エアコンのある教室を使用させてもらい、子どもたちもサポーターも厳しい暑さの中を快適に過ごすことができました。公民館文化祭への作品募集にはみんなで取り掛かり素晴らしい作品を完成させました。多くの地域の人に褒めてもらい、子どもたちは嬉しさと努力する喜びを感じていました。これからも地域とつながった運営をしていかなければと思っています。

事例写真



7月 ルービックキューブの得意な5年生が先生になってコツを教えてくださいました。
「あっ、わかった。できたよ。見て見て。」「やったね！」



10月 毎日来室した2年生。とても仲良しで一緒に遊びました。今日は、「ウノ」に夢中。
自分たちでルールを決めました。手持ちが1枚になったら、大きな声で「ウノ！」

教室名・年間開催回数	【赤江っ子放課後子ども教室】活動報告書・年間37回
公民館・学校名	赤江東地区交流センター・赤江小学校
活動場所・時間等	赤江小学校敷地内 赤江っ子ハウス 毎週水曜日 14:00～17:00 37回
運営スタッフ	コーディネーター1人、サポーター4人
参加児童	1回当たりの平均参加児童10人、登録児童数29人

番号	項 目	成 果 と 課 題
1	教室の方針	放課後の子どもたちの居場所づくりとストレス発散の場を提供することを目的としています。
2	年間事業計画	活動サポーターの配置計画表と子どもたちの活動計画表を作成し、実施しています。計画通りにはいきませんが、それぞれ楽しんでいました。
3	活動内容	毎週午後3時までに必ず宿題を済ませ、いろいろなことにチャレンジしました。風船に水を入れびしょ濡れになりながら家でできないことをして遊んだり、砂場で紙コップを使って遊んだりと自由に活動していました。
4	子どもの指導と管理	子どもたちの行動範囲はとても広く、目が離せません。宿題がわからないときは、サポーターさんに聞いたりして済ませることを約束しています。砂場で遊んで出たごみは、必ず教室のゴミ袋に捨てるように指導しています。
5	子どもの参加状況	新学期が始まる4月に参加希望の文書を配布します。申し込みは29人いましたが、一度も顔を見せない子どもが多くいました。平均毎回10人程度の参加ですが、顔ぶれは決まっていました。
6	学校との連携	教頭先生を窓口にして活動しています。先生も「あまり無理をしないように活動して下さい」との言葉をいただいています。ハウスは、PTAの持ち物ですので、会長さんや執行部の方々との連携も大切にしています。
7	保護者との連携	教室を利用するときは、必ず利用者カードを保護者に書いていただいています。カードにメッセージ等書いていただいています。必ず迎えに来られる保護者もいらっしゃいますので、いろいろな話も聞くことができたりことらの情報を伝えたりできるなど連携はとれていると思います。
8	予算の執行	参加児童数が少ないこともありますが、教材などはあまり必要ではありませんでした。風船は無駄遣いすることも多々ありますが、注意しながら実施しています。
9	その他運営全般	参加児童数が当日にしかわかりませんので、サポーター4名は毎回待機しています。1月10日（水）は、サポーター4名のうち3名が体調不良のため、教頭先生に連絡し校内放送で中止の旨の連絡をお願いしました。

事 例 写 真



期 日 令和5年 6月 7日 (水)
場 所 赤江小学校中庭
コメント 植木鉢がたくさん置いてあるのだから水をあげることも必要なのにまたも風船で遊んでいます。



期 日 令和5年10月11日 (水)
場 所 赤江小学校中庭・砂場
コメント 男女でどんな会話をしているのでしょうか。学年は4年生以下です。



期 日 令和5年11月 8日 (水)
場 所 赤江っ子ハウス内
コメント 3時までには必ず宿題を済ませることを約束していますが畳の上でプリントとはちょっと行儀が悪いですね。



期 日 令和6年 1月31日 (水)
場 所 赤江小学校中庭・砂場
コメント 砂場で紙コップや小さなガラス瓶に砂を入れて遊んでいます。最後にはちゃんとかたづけてハウスまで持参しました。

(様式1)

令和5年度 活動状況報告書 (くじら教室)

教室名・年間開催回数	【佐土原小学校区放課後子ども教室】 活動報告書・年間 33 回
公民館・学校名	佐土原小学校、佐土原地区交流センター
活動場所・時間等	佐土原小学校 毎週水曜日、15:00～17:00 (下校時刻が 14:30 になり対処する) 33 回
運営スタッフ	コーディネーター(1 人)、サポーター(16 人)
参加児童	1 回当たりの平均参加児童 (19) 人、登録児童数(22) 人

番号	項目	成果と課題
1	教室の方針	○ 安心、安全な教室、3密をまもり、思いやりのある楽しい教室。 ○ 挨拶の励行、笑顔での挨拶が印象に残った。
2	年間事業計画	○ コロナ感染者の減少により、卒業式、入学式も正常にもどり 5 月 10 日から始める、
3	活動内容	○ 6 月 14 日はフラワーキーホルダー作りを実施、スタッフも参加。 ○ 青島自然の家の出前講座は 9 月 18 日、今年度で 4 回目を依頼し体育館にてゲーム等で楽しく過ごした。 ○ クリスマス会は、今年も交流センターで九電の出前講座も兼ねて実施することが出来た。
4	子どもの指導と管理	○ 各指導員には先ず安全とコロナ対策を把握した上で、学習や遊びの活動を見守り伸び伸びとした解放感でより良い環境作りに努めた。 ○ 言葉づかひの悪い子供には注意した。
5	子どもの参加状況	○ 12 月に加入募集を締め切り最終的に 22 名の子ども達が加入した。 ○ 新入生の募集で今年度は、8 人の入会者があった。 ○ 参観日等においては早退のため、保護者と一緒に帰り少ない日もあったが、卒業生の中学生の参加もあって一緒に遊んでくれた。
6	学校との連携	○ 佐土原地区交流センターの館長と共に校長、教頭と直面する諸問題特にコロナ対策、インフルエンザについて話し合う。校長も時々教室に顔を出して頂き、和みのある教室になりました。
7	保護者との連携	○ 保護者会は中止、書面で通達する。クリスマス会、お別れ会は実施するも簡素化にする。(コロナ感染防止対策のため) ○ 毎月「くじら教室便り」を発行し活動状況を報告している。
8	予算の執行	○ 予算の減る中で範囲内の予算はきっちり執行できた。36 回→33 回教育活動サポーターの研修会における謝金は需用費から流用する。 ○ クリスマス会の経費は会費 300 円と地域協の助成金で賄う。
9	その他運営全般	○ 宿題が多くて楽しみの工作が最後まで終わらなくて残念でした。 ○ 教室の長机が古くて不具合が多くて危険なので新設して欲しい。

【事例写真 くじら教室】

〈 九電の出前講座 〉



期 日 令和5年6月14日（水）
場 所 佐土原小学校
コメント 出前講座でスタッフの人達にも「フラワーキーホルダー」
作りをしてもらった。

〈 読み聞かせ 〉



期 日 令和5年6月28日（水）
場 所 佐土原小学校
コメント 読み聞かせで生徒に感想を聞いてもらっている所

【事例写真 くじら教室】

〈クリスマス会〉



期 日 令和5年12月20日（水）

場 所 佐土原地区交流センター調理室

コメント 新1年生8人は初めてなので6年生が指導して、出来上がったケーキを食べました。



コメント 同上でクリスマス会が終わり、皆でハイポーズ。

教室名・年間開催回数	【広瀬西小校区「遊んでいい友塾」】活動報告書・年間 47 回（1 月まで）		
公民館・学校名	久峰中校区活動センター・広瀬西小学校		
活動場所・時間等	光陽台学習館	平日 毎週水曜日 (夏季) 放課後～18 時 (冬季) 放課後～17 時半 長期休業 8 時～12 時	32 回 15 回
運営スタッフ	コーディネーター1 人、サポーター9 人		
参加児童	1 回当たりの平均参加児童数 14 人、登録児童数 46 人		

番号	項 目	成 果 と 課 題
1	教室の方針	「地域住民の参画のもとに、子どもたちが楽しく学び、仲良く遊べる安全・安心な居場所づくりに努める」という目標は、来塾した子どもたちが子ども同士や地域のサポーターと楽しそうに活動しているので達成できていると思う。
2	年間事業計画	コロナやインフルエンザが流行り、学級閉鎖になったクラスの子どもたちが来塾できない日もあったが、計画通り開催することができた。但し、8 月 8 日（台風接近）と 8 月 30 日（全校集団下校後、5 限目を自宅でオンライン授業）の 2 回は中止した。
3	活動内容	夏休みに「青島青少年自然の家」の出前活動を実施。グループ活動の際、子ども同士でアイデアを出し合ったりアドバイスをする様子が見られた。これがきっかけで、料理教室等の行事や普段の遊びでも、上級生がリーダーとなって子どもたちが主体的に活動できるようになった。
4	子どもの指導と管理	子どもたちが安全に楽しく過ごすために、①来塾の際は消毒と検温を実施②おやつを食べる前は手洗い・うがいを励行③宿題を済ませてから仲よく遊ぶ約束をしている。なお、9 月 6 日は火災の避難訓練と共に地震の発生や不審者侵入への対応（緊急時避難経路）についても再確認している。
5	子どもの参加状況	長期休業中は全学年ほぼ同じ参加人数で、異年齢で仲良く遊んでいる。今年度は長期休業中と平日に来塾する子どもの顔ぶれが半数ぐらい異なるという傾向があり、平日は 2・4 年生の参加が殆どない。習い事に行く子どもが多いようだ。
6	学校との連携	翌月のたよりを届ける際に、学校の行事予定を聞くとともに、「遊んでいい友塾」での子どもたちの様子を伝えている。何かあればすぐに学校から連絡してもらえるのでありがたい。
7	保護者との連携	保護者が子どもたちを迎えに来た時に、子どもの様子を伝えるなど進んで声をかけることが、保護者との連携を図るために大切だと考えている。そこで得た情報は、サポーター全員で共有しその後の活動に活かしている。
8	予算の執行	学習館という限られた空間が活動場所で、外で遊べないことを考慮し、子どもたちの要望を聞いてカードゲーム、塗絵帳、児童本、卓球用具などを購入した。なお、安全面から、長期休業中はサポーターの人員を一人増やした。
9	その他運営全般	サポーターの高齢化が進むことを考えると今後の運営に不安な面もあるが、今年度は夏休みの料理教室の講師がサポーターになることを申し出てくれて心強く感じた。また、交流会では地域の方々から「子どもの頃の遊びや戦争体験、大切な命」について話を聞く機会を得た。来年度は毎月のたよりを活用して、地域の方々や保護者が遊びに来て頂けるように積極的に働きかけていきたい。

来塾したら、まず宿題や自主学習。その後、自由遊び。



8月4日
夏休みの学習の様子



8月1日
みんなで相談「何して遊ぶ？」

青島青少年自然の家「出前活動」でグループ活動を通して異学年一致団結



7月31日
二人組で一枚の新聞紙を破いて長さ比べ
「どの組が長いかな？」



7月31日
ニュースポーツ（カローリング）
アイデアを出し合い作戦会議



7月27日

エコ工作「飛び出すへび」

牛乳パックと輪ゴムを使って工作。お互いに教え合って真剣に取り組み、出来映えに満面の笑顔。



8月1日

ニュースポーツ（サッカー）

6年生がバランス良くチーム編成。各チームで話し合い、場所の入れ替えなどを工夫して熱戦となる。



8月3日

料理教室「カレー」

一人一品ずつ材料を持ち寄り、講師に教えてもらいながら、みんなで協力して作ったカレーは格別な味。



8月7日

交流会

光陽台地区の寿会の皆さんから「子どもの頃の遊びや戦争体験、大切な命」について話を聞く。その後、ニュースポーツ（シュートゲーム）と一緒に楽しむ。

令和5年度放課後子ども教室運営組織委員会・指導者研修会事業実績

No	会 議	日 時・会 場	内 容 等
1	第1回	令和5年5月24日(水) 10:00~11:30 宮崎市中心公民館 大研修室 〔参加者 欠席者1名〕 運営委員長 1名 コーディネーター 19名 教育活動サポーター 2名 社会教育指導員 7名 計 29名	1 開会行事 ○ 生涯学習課長あいさつ 2 運営組織委員会 ① R4 放課後子ども教室の様子 ② R5 放課後子ども教室の概要について ③ R5 放課後子ども教室訪問について 3 指導者研修会 ① コロナウイルスの5類感染症への移行後の対応について ② 青島青少年自然の家の出前活動の紹介 4 閉会
※ 年度当初に第2回の指導者研修会のための7月開催を予定していたが、第1回指導者研修会で「青島青少年自然の家」から講師を招集して実技・演習を行ったこともあり、開催しなかった。			
2	第2回	令和6年1月31日(水) 10:00~11:30 宮崎市中心公民館 大研修室 〔参加者 欠席2名〕 運営委員長・委員 3名 コーディネーター 18名 教育活動サポーター 1名 社会教育指導員 4名 計 26名	1 開会行事 ○ 生涯学習課長あいさつ (放課後子ども教育係長代読) 2 運営組織委員会 ① R5 放課後子ども教室の様子 ② R5 実績報告書・活動報告書 ③ R6 委託契約書の手続き 3 指導者研修会 ① 市政出前講座「ニュースポーツを楽しもう!」の紹介 講師: 宮崎市スポーツ推進委員 ② その他

令和5年度 放課後子ども教室推進事業登録者数一覧表

No.	教室名	小学生						幼児・保	中学生	計	指導者計
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生				
1	江平っ子放課後子ども教室	15	22	35	27	34	9	0	0	142	
2	小戸っ子こども教室	13	13	16	11	13	4	0	0	70	
3	西池っ子こども教室	16	7	22	20	6	6	0	0	77	
4	古城っ子放課後子ども教室	6	6	5	4	7	1	0	0	29	
5	大宮放課後子ども教室									0	
6	港子どもクラブ	21	11	29	26	14	9	0	3	113	
7	憶北っずこどもクラブ	25	24	33	27	24	12	0	7	152	
8	南っ子放課後子ども教室	31	19	41	36	20	33	1	0	181	
9	鏡洲放課後子ども教室	5	0	2	3	3	11	0	0	24	
10	学園木花台小放課後子ども教室	9	16	18	11	10	6	0	0	70	
11	瓜生野小放課後子ども教室	3	12	14	18	28	16	0	0	91	
12	住吉小放課後子ども教室	5	12	5	13	11	9	0	0	55	
13	住吉南っ子放課後子ども教室	8	8	21	14	17	14	0	2	84	
14	生目っ子放課後教室	13	13	13	20	5	5	0	0	69	
15	小松台小放課後子ども教室	16	20	25	18	3	7	0	0	89	
16	本郷地区放課後子ども教室	11	14	10	47	15	7	11	2	117	
17	大塚わくわく子ども教室	12	11	17	20	7	12	0	0	79	
18	江南わくわく子ども教室	9	6	6	26	23	3	1	0	74	
19	宮崎東小学校放課後子ども教室	4	16	23	11	12	18	0	0	84	
20	東大宮小学校放課後子ども教室	12	24	25	11	12	4	0	0	88	
21	西小っ子クラブ	1	14	6	17	16	4	0	0	58	
22	赤江っ子放課後子ども教室	11	10	2	6	0	0	0	0	29	
23	田野小あそびの城									0	
24	くじら教室	8	3	0	4	3	4			22	
25	すくすくけやき教室									0	
26	広瀬西小校区「遊んでいい友塾」	4	6	12	8	9	7	0	0	46	
計		258	287	380	398	292	201	13	14	1,843	0

※ 大宮放課後子ども教室と田野小あそびの城と那珂小すくすくけやき教室は休止

令和5年度「宮崎市放課後子ども教室推進事業」活動報告書

令和6年3月発行

編 集 宮崎市教育委員会 生涯学習課
発 行 〒 889 - 1696
宮崎市清武町西新町1番1号
TEL 0985 - 85 - 1834 (代表)
FAX 0985 - 85 - 0458



【将来の都市】

未来を創造する太陽都市「みやざき」

【まちづくりの基本姿勢】

地域に愛着をもち、新たな価値を共に創る